



# みずほ

第 15 号

平成19年2月1日

発行  
岐阜県瑞穂市議会

編集  
瑞穂市議会広報編集委員会

# 市議会だより



▲みんなで楽しく外遊び（＝牛牧第1保育所にて）

平成18年第4回  
瑞穂市議会  
定例会

**議案審議** ・ 懲罰動機の提出 ・ 意見書 ..... 2p

●平成18年 第3回臨時会 ..... 4p

●議員研修報告 ..... 11p

●平成19年 第1回臨時会 ..... 4p

●議員紹介 ..... 12p

●一般質問 ～市政を問う～  
会派代表質問(5会派)・個人質問(8人) ... 4p

# 議案審議

平成18年第4回瑞穂市議会定例会が、12月1日から20日間の会期で開会した。本定例会では、前回に引き続き土日議会を開催。16日および17日に一般質問を実施し、両日の傍聴者数は合わせて63人であった。市長から提出された議案22件のほか、堀孝正議員に対する懲罰動議、議員が提出した意見書1件などを審議した。

本定例会に提出された議案について、主な審議の内容は次のとおり。

**可決**

**岐阜県後期高齢者医療広域連合の設置について**

**A** 9月に設立準備委員会が立ち上げられ、その中で決められた。  
**Q** 関係市町村の長などに比べ、議会議員が7人というのは少ないのではないか。  
**A** 設立準備委員会での議論で、広域連合の事務内容を検討すると、事務処理で各市町村との関連が非常に密接となる。広域連合の組織を円滑に動かし、また議論をする際にも、各市町村の事務に精通し状況をよく知っている長が参画することが望ましいとされた。

高齢者の生活を圧迫する。保険料がどうなるか示されていない。診療報酬が後期高齢者として別立てになり、診療報酬が引き下げられれば、病院から追い出される懸念がある。  
**賛成** 全国的な医療費の見直しができる。県で一本化することになる保険料の資料などは、制度が固まれば作られる。などの審議があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

一般会計補正予算（第3号）

**可決**

市長から提出された議案22件のほか、堀孝正議員に対する懲罰動議、議員が提出した意見書1件などを審議した。

**Q** 広域連合の考え方は。  
**A** 単独で事務を行うよりも、複数の自治体が共同して事務を行う方が効率性が上がる、また広域である方がより公平性が保てる、この2点を基本に考えながら広域連合に参画するか判断する。  
**Q** 広域連合での公平性とは、どのようなことか。  
**A** 広域連合になることで、自治体ごとで違う保険料を岐阜県で一本化できる。

**Q** 75歳以上の高齢者が支払う保険料はどれくらいになるのか。  
**A** 広域連合が定めることなので明言できないが、徴収方式に関しては、国の指針によると、均等割と所得割の2方式になる予定。  
 また次のような議論が行われた。

**Q** 規約には、広域連合議員の定数は49人で、そのうち42人は関係市町村の長などで、7人は関係市町村の議会議員とある。これはどのように決められたのか。  
**Q** 規約には、広域連合議員の定数は49人で、そのうち42人は関係市町村の長などで、7人は関係市町村の議会議員とある。これはどのように決められたのか。

**反対** 広域連合議員の構成で、関係市町村の議会議員が7人では住民の声が届かない。  
 年金からの保険料の天引きもあり、

平成18年度一般会計補正予算（第3号）は、1億6739万7千円を追加し、補正後の予算額を149億6591万3千円とするもの。合併特例債1億3千万円、福祉医療費補助金2千万円を主な財源とし、福祉医療助成事業費4千万円、下犀川橋架替事業委託費1億3600万円を増額するなどの内容で、次のような質疑が行われた。  
**Q** 下犀川橋整備の進捗状況は。  
**A** これは県が主になっていて、現状は、土地買収のめどが付き、これから橋梁の工事に掛かると聞いている。人事異動により水道部で減員とな

## 懲罰動議

つた人件費の減額分は、異動先の一般会計で増額されているのか。  
**A** 人事異動により必要となった人件費は9月に補正した。今回の人件費の補正は、精査をして年度末までに必要とする分の増額と不用分の減額とする。

**Q** アウトソーシングによる減員で、水道部の人件費は減額できたが、異動先で増額されており、市全体の会計として人件費は変わっていないのでは。さらにアウトソーシングの費用が増え、経費削減になっていないのでは。  
**A** 現時点では、人件費の大きな削減はないが、職員の質の向上、また今後増えていく退職者による職員数の減少など、先を見据えた定員管理を考えて行っており、長いスパンの中では効果が現れてくる。また、人件費では、時間外手当が減っている。

などの質疑があり、採決の結果、賛成多数で可決した。



12月17日、澤井幸一議員ほか2人より堀孝正議員に対する懲罰動議が提出された。  
 提出の理由は、12月16日の本会議において、堀孝正議員は、一般質問として会派「改革」の会派代表質問を行った。その発言中、2度にわたり不穏当な差別用語を使い、議会の品位を汚したとするもの。

### 審議の流れ

懲罰動議の提出者からの説明、提出者に対して質疑が行われ、その後、堀孝正議員より弁明があった。また、本人より不穏当な発言の取り消しの申し出があり、これを許可した。

その後、懲罰特別委員会に審査を付託することに賛成多数で決定。委員会は議員5人で、次のとおり構成した。

- 委員長 小寺 徹
- 副委員長 浅野 櫻雄
- 委員 澤井 幸一
- 委員 榎瀬 悦宏
- 委員 若園 五朗

### 委員会での審査

懲罰特別委員会の審査では次のような意見があった。  
 ・不穏当な2カ所の発言は、議会全体を指しており、また懲罰事例の高裁判例と照らし合わせても、無礼の言葉にあたり懲罰の対象になる。  
 ・すでに議場で弁明しており、懲罰処分の種類としては、その種類のうち、最も軽いものとされている。「公開の議場における戒告」が適当。

### 採決の結果

懲罰特別委員会の採決の結果、賛成多数で堀孝正議員の発言が懲罰事犯であるとして、懲罰処分の種類および内容は「公開の議場における戒告」と決定し、本会議に報告された。  
 本会議での採決でも同様の結果となり、議場において、議長より堀孝正議員に対して戒告文が朗読された。

### 懲罰とは

議会の規律と品位を保持するために、議会の秩序をみだした議員に対して議会が科す制裁のこと。種類として、戒告、陳謝、出席停止、除名の4つがある。

## 意見書

定例会最終日の12月20日、左記の意見書を全会一致で可決し、関係機関に送付した。

法テラスの更なる体制整備・充実を求める意見書（要旨）

司法制度改革の一環として、法律サービスをより身近に受けられるようにするため、総合法律支援法が2004年に施行された。同法に基づき、日本司法支援センター（愛称・法テラス）が設立され、本年10月2日に全国で一斉に業務を開始した。

法テラスは、身近な司法実現への中核となる組織で、情報提供、民事法律扶助、司法過疎対策、犯罪被害者支援、国選弁護関連事務を主な業務としている。今後、法的トラブルの増加も予想されるだけに、法テラスは時代の大きな要請に応える機関である。

よって、国においては、法テラスの体制をさらに充実させるため、次の措置を講じるよう強く求める。

- 地方事務所などで勤務するスタッフ弁護士を、早急に大幅増員すること。
- 司法過疎対策を推進し、いわゆるゼロワン地域を早急に解消すること。
- 訪問や出張による相談等を実施すること。
- 高齢者、障害者、外国人、若者等に配慮し、周知徹底を図ること。
- 日曜日も業務を行うこと。
- 電子メールによる相談サービスを早期に導入すること。

### 平成18年 第3回臨時議会

平成18年第3回瑞穂市議会臨時議会が、11月2日に1日間の会期で閉会し、市長から提出された議案1件を可決して、同日閉会した。提出された議案の概要と主な質疑は次のとおり。

#### 土地の取得について

可決

地域住民が気軽に集い、互いの交流や連携のための地域施設としてコミュニティセンターを整備するに当たり、必要な土地を取得したいので、議会の議決を求めるもの。

取得の目的  
(仮称)瑞穂市本田コミュニティセンター建設

Q コミュニティセンターの使用料や減免の考えは。  
A 現在あるものを一つの基準に考えている。

Q 当初計画はもう少し広がったが、隣地の取得は。  
A 当初計画の規模で整備したいという考えは捨てていない。隣地についても、時期が来たら、取得できるようにお願いしていきたい。

### 平成19年 第1回臨時議会

平成19年第1回瑞穂市議会臨時議会が、1月17日に1日間の会期で閉会し、市長から提出された議案2件を可決して、同日閉会した。提出された議案と主な質疑は次のとおり。

#### 瑞穂市給食センター建築工事請負契約の締結について

可決

Q 建設反対で要望書などがあつたが、その対応は。  
A 自治会の役員会などで説明した。

Q 建設後に施設などから問題が出たときは。  
A 区長や自治会長を通して、連絡していただきたい。

瑞穂市立別府保育所改築・市道3 3 138号線(ハリアフリー)整備工事請負契約の締結について

可決

Q 本業縦貫道の西側に保育所を建設する利点は。  
A 保育所の利用者が縦貫道の西側に多い。また現在の保育所に建設しようとする。約1億円の経費がかかる。

## 第4回(12月)定例会

# 一般質問

市政を問う

### 首長13年の総括は

#### 市長 豊かな暮らしのあるまちづくり



新政会 澤井幸一議員

会派代表質問

Q 松野市長は穂積町長を3期と瑞穂市長を1期務められた。ご自身での総括評価と今後の展望は。  
A 市長 行政の仕事は、豊かな暮らしができるまちづくりというのが一つの目標で、財政力との整合性を見ながら施策を展開してきた。穂積町時代に大きかったのは、笠松競馬場と中濃競輪組合からの撤退。笠松競馬場の解散では、分配金によって築修館の建設ができた。残念に思っているのは岐阜日赤病院を誘致できなかったこと。

合併以降では、旧穂積町と旧奥南町で大きな違いのあった上水道の整備。また団体の統合や、奥南地区に残っていた土地開発公社の整理完了。失敗したことは、事務的なミスによって堀越紡績の用地をすべて買収できなかったこと。

Q 今後の大きな課題として、消防機能の統一がある。岐阜市への消防業務委託については。  
A 市長 市単独での消防体制を検討する中で、通信司令業務を岐阜市にお願いしてきた。その中で、岐阜市から全面受託も検討しようという好意的な話がいた

Q 安八町や大野町との合併については。  
A 市長 皆さんの意見を伺いながら方向を検討することになると思う。現段階では、2町で合併した新しい瑞穂市が、堅実で安定した歩みのできる体制を整えることが第一。

Q 犀川遊水地を区画整理した地域にアパート

が増えたこと。  
A 市長 犀川遊水地を区画整理した地域にアパートが増えてきた犀川遊水地の区画整理地域



犀川遊水地の区画整理地域

## 名古屋紡績穂積工場跡に進出する企業は

### ダイヤモンドシテイ(株)が進出希望

会派代表質問



日本共産党瑞穂市議員団 小寺 徹議員

事業計画は。

Q 都市整備調整監 正式には提出されていない。現時点では、相談や協議をしている。  
Q 進出する場合の交通対策は。  
A 都市整備調整監 市、県、国と交通アクセスの方法を協議している。市内へ車が入り込まないための配慮も要望している。

Q 営業時間が深夜までになると、青少年に影響を及ぼすのではないかと。  
A 教育長 近隣にある商業施設では、各学校が生徒指導で見回っている。市内に商業施設が来た場合も、教育委員会として対応を決めたい。

Q 市から営業時間などの要望はするの。  
A 都市整備調整監 住民説明会などで要望を承り、対応していきたいと思う。

Q グラウンド周辺の校を残しておく要望は。  
A 都市整備調整監 状況によっては協定書の検討もあるが、現在のところ考えていない。

Q 都市整備調整監 校のことは地元からも聞いている。市も、そういう声は届け、話し合っていくきたい。地元住民への説明会はいつあるの。  
A 都市整備調整監 大規模店舗立地法で、県に届出されてから2カ月以内に行うことになる。

Q 住民要望による合意事項は、協定書を締結するの。  
A 都市整備調整監 状況によっては協定書の検討もあるが、現在のところ考えていない。

Q 交通安全教育の徹底を図ることなどが検討されている。  
Q この機会に再度通学路の安全点検は。  
A 教育長 改めて各学校で実施した。

Q 緊急連絡網は情報漏洩がないよう管理されている。  
A 教育長 緊急連絡網は各々が作成し、管理している。個人情報保護のため、情報の記載に保護者の了解を得たり、直接手渡したり、

Q 緊急連絡の方法について、電話連絡では時間がかかるのではないかと。  
A 教育長 連絡方法は、連絡の内容や緊急度で使い分けている。文書での連絡、直接保護者への電話連絡、家庭訪問、携帯電話へのメール連絡など、幾つかを使いながら、補完して伝達する体制をとっている。

Q 携帯電話のメール配信サービスへの加入状況と配信件数は。  
A 教育長 現在実施している学校での加入状況は、小学校6校が75%、92%、中学校2校が81%と50%。学校によって配信内容に違いがある。

Q 緊急連絡網は各々が作成し、管理している。個人情報保護のため、情報の記載に保護者の了解を得たり、直接手渡したり、



カラー舗装された交差点 (=中ふれあい広場東の交差点)

Q 職員の勤務評定について

Q 緊急連絡網は各々が作成し、管理している。個人情報保護のため、情報の記載に保護者の了解を得たり、直接手渡したり、

Q 緊急連絡の方法について、電話連絡では時間がかかるのではないかと。  
A 教育長 連絡方法は、連絡の内容や緊急度で使い分けている。文書での連絡、直接保護者への電話連絡、家庭訪問、携帯電話へのメール連絡など、幾つかを使いながら、補完して伝達する体制をとっている。



メール配信が行われているパソコン (=牛牧小学校)

### 消防体制整備の方針転換は

#### 市長 岐阜市が全面受託の検討を了解

会派代表質問



改革 堀 孝正議員

**Q** 市単独での消防体制の整備から、岐阜市への全面委託に方針転換された。この経緯は。

**A** 市長 市単独で消防体制を整備する場合の弱点となる通信司令業務を岐阜市にお願ひしてきた。その過程で、全面受託も検討していた。ただ、意向があつたため、検討をお願ひした。

**Q** 議会に諮らず方針転換したのは、議会軽視ではな



岐阜市へ委託が検討されている消防体制(=本巣消防の南署)

#### 市長選の出馬表明について

**Q** 穂積町長選では選挙間際に出馬表明をされていたが、今回は早々と表明された。この意気込みは。

**A** 市長 私の考え方を申し上げて、まちづくりについていろいろと考え議論していただくため、できるだけ早く自分の考えを表明した方がよいと判断した。

**Q** 表明の中でハード面の

整備は、ほぼめどが付いたとあつた。公園や下水道の環境整備はどうか。

**A** 市長 合併に関連して早急に整備しなければならぬ事項の対応は、ほぼめどが付いたということに申し上げた。

**Q** 本田、牛牧、穂積などの地域では公園が整備されていないのでは。

**A** 市長 公園整備は地域の方の全面的協力をいただかないと進まない。また、地域の方がどう考えられて

いるかも考えなければならぬ。

**Q** 下水道は緊急で重要なハード事業。めどが付いているか。

**A** 市長 下水道は、処理区の維持費と加入者からの使用料のバランスが取れたら、次の処理区を整備する。加入率が85%ぐらいで次の検討ができると思う。財政を無視してまでの事業展開は考えていない。

### 将来の抱負は

#### 市長 ポイントに置くのは地域コミュニティの構築

会派代表質問



翔の会 篠田 徹議員

**Q** これからの地方分権や市民協働のまちづくりについて、瑞穂市の体制をどう改革すべきか、市長選に出馬表明された抱負を尋ねる。

**A** 市長 まちは、そこに住む人たちの努力、協力によってできあがるもの。そういう方たちの力を発揮しやすい環境を整備していくのが大きなテーマ。ポイントに置くのは地域コミュニティの構築で、ハード面の整備や人と人が触れ合えるシステムをつくっていくことが重要だと思つている。国から事業費の4割補助があるまちづくり交付金制度を使い、交流が深まることや地域安全に使ってきたい。

現在は、JR穂積駅周辺整備、別府保育所整備、楽修館南側の歩道整備に使つている。また来年度以降、牛牧小学校から東に、五六川を渡る新しい橋を整備する計画や、野田地区の水路を整備する計画などを考えている。また財政を維持していくことも大切で、



五六川を渡る橋の整備が計画されている

#### 安全安心のまちづくりについて

**Q** 通学路には危険な箇所も多い。交通指導員などを増やす考えは。

**A** 市長 指導員やサポーターの皆さんが通学路で子ども達を見守っていただいているが、特定の人だけでなく、すべての市民に関心を持っていただく形が良いと思う。

**Q** 新堀川放水路整備工事が計画どおり進められなくなった経緯は。

**A** 市長 この工事は県に

よって進められている。現在は、地権者から土地提供の理解を得られた面積が約60%で、まだ約40%が了解を得られていない。竣工は当初よりも1〜2年遅れることになる。

### 平成19年度予算編成は

#### 財政の健全性が大前提

個人質問



若園五朗議員

**Q** 予算編成の方針は。

**A** 総務部長 歳入では、経済動向・税制改正の動き・税源移譲などに留意し、確かな見込み額を確保するよう、また負担金・補助金は、補助基本額・補助率・負担区分などを的確に把握して、確実な見込み額を計上する。歳出では、事業効率・効果を明確にし、的確な額を見込むよう、特に經常費の任意的経費は、平成16年度予算ベースの3割削減を示している。

**Q** 主要事業の重点施策は。

**A** 総務部長 本年度に引き続き、給食センター建設・



引き続き整備される別府保育所

常備消防体制の整備(仮)本田コミュニティセンター建設・別府保育所建設・パリアフリーの整備などの事業を引き続き実施していく。

**Q** 行政事務の合理化は。

**A** 総務部長 10月に策定した行政改革大綱により進める。具体的には、定員管理および給与の適正化、人材育成、経費の削減、収入確保等の財政効果、民間委託等の推進、事務事業

#### 都市計画について

**Q** 地方への権限移譲が進む中、都市計画の見直しの考えは。

**A** 都市整備調整監 新市として統一のとれた都市計画の見直しが必要だと認識している。一方で、区域の

設定に関し、都市活動が行政界を超えて広域的に展開していることへの配慮が求められている。県などと協議し主体的に検討していきたい。

**Q** 区域は日本巣都とするのか市単独とするのか。

**A** 市長 都市計画は広域の視点で考えた方がいいと

思うが、瑞穂市としての思いが反映できるものであつてほしい。その兼ね合いでこれからの検討課題になる。

**その他の質問**

- 交通安全対策について
- 下水道使用料の見直しについて

### いじめ問題の対策は

#### 学校全体で連携して対応している

個人質問



安藤由庸議員

**Q** 昨今、児童・生徒の自殺原因になつているいじめ。当市の対策は。

**A** 教育長 当事者のみならず、教師、保護者、周りの人がいじめと感じたら、いじめとして対応する。また、どの学校でも起こり得ることがあるとの立場に立っている。対策としては、学校では、子どもの言動、身なり、生活ノート、保護者からのノートなどから子ども達の心の状態の観察。いじめ問題についての指導マニュアルを使った研修会。子どもたちのアンケート調査。相談箱の設置。これらで把握した相談活動。いじめたという者に対する指導。また、いじめが見つかった場合は、学校全体で情報を共有し、素



児童の声を聞くための相談箱(=牛牧小学校にて)

早く連携して対応することをお願いしている。

#### 下水道事業について

**Q** 下水道事業の三つの特別会計は、企業会計を用いるのが適当と考えるが導入の意向は。

**A** 水道部長 企業会計を導入すると、減価償却で経費活動の発生に基づいた費用の認識は可能となるが、手間や費用がかかり、事務量の増加が見込まれる。当

#### アウトソーシングについて

**Q** 經常経費3割削減のためのアウトソーシングは、どの程度まで拡大するのか。

**A** 市長公室長 印刷・封入などの簡易業務、文書管理業務、住民票等の窓口業

#### 消防体制について

**Q** 市単独で消防体制を整備するため採用した消防職員の平成20年度以降の処遇は。

**A** 市長公室長 岐阜市消防への派遣を考えている。

### 下水道の整備は

## 利用状況を見ながら進めていく

**Q** 市長がこれまでにやってきた下水道事業は、コミユニティ・プラントの別府処理区のみ。しかも接続率は供用開始後3年で30%。今後の整備計画のめどさえ立っていない。その結果、平成17年度末の整備率は37.7%で県下21市中最下位となっている。これでも提案説明で言われたように、ハード面の整備は、ほぼめどが付いたと強弁されるのか。

**A** **市長** 下水道事業は全体を考え、状況を見ながら進めていく。整備していくにはステップがあり、利用状況を考えないでやれという話は暴論ではないかと思う。

**Q** 接続率85%で料金を設定してあり、めどが付けば次の処理区を整備することだが、いつめどが付くのか。

**A** **市長** 別府処理区を整備するとき、地域の方にアンケートしたら、80%以上の方が賛成だった。しかし、現実に管路をつないだら、接続率に隔たりがあった。



接続率の上昇が望まれる下水道（=アクアパーク別府水処理センター）

### 個人質問



西岡一成議員

施設をつくっても利用されないことがあり、利用状況を見ながら次の展開を考える。できるだけ早く接続率が85%に到達するように、お願いする以外にない。

**Q** 具体的な調査はしていない。

**A** **市長** 別府処理区を整備するとき、地域の方にアンケートしたら、80%以上の方が賛成だった。しかし、現実に管路をつないだら、接続率に隔たりがあった。

**Q** 学校給食の調理業務を民間委託した自治体の調査・研究は、どの程度行ったのか。

**A** **教育次長** 公設公営と考えているので、民間委託

### その他の質問

業委託で、調理器具を貸し付けるとい見解はとっていない。自治法には抵触しないと考えている。

・消防について

### タリの道路整備は

## しかる時期に進めていきたい

**Q** 穂積字タリの道路整備について、平成9年に地権者などの関係者が要望書を提出された。道路整備を目的とした土地の寄付もあつたが、その後の経過は。

**A** **都市整備部長** 要望書の土地は、関係者の売買による所有権移転登記が未了の状態。民間の取引で市が積極的に介入しにくい状況。推移を見守りつつ、しかる時期に関係者と共に進めていきたい。

**Q** 6月議会での一般質問で、タリの地籍調査について、地域と話し合いの場をつくることのできれば、優先的に進めていきたいとおつたが、その後の経過は。

**A** **都市整備部長** 地籍調査は各地権者の同意がないと進まない。事業内容や説明に伺う用意のあるこ



### 個人質問



広瀬捨男議員

とを、6月のうちにタリの役員の方に話した。

充実し、会員数の増大を図り、業務拡大を進めたい。

**Q** 障害者控除対象者認定書について

**A** **市民部長** 広報誌へ掲載してPRしたい。

**Q** 障害者控除対象者認定書の交付により、身体障害者に準ずる者と認められれば、税法上の障害者控除の対象となるが、認定書の交付事務処理要領を作成する考えは。

**A** **市民部長** 県が定めて

**Q** 制度の周知は。

**A** **市民部長** 広報誌へ掲載してPRしたい。

**Q** 常備消防の岐阜市への委託について

**A** **市民部長** 給食センターについて

### 岐阜県重度障害者 処遇向上費補助金は 補助を検討したい

## 補助を検討したい

**Q** 重度障害者の生活向上のため、岐阜県重度障害者処遇向上費補助金がある。県下の瑞穂市以外の市は補助金を施設に交付している。瑞穂市は交付しないのか。

**A** **市民部長** 介護水準を向上させるため、施設の事業者に補助するもので、当市も補助を検討していきたい。

### 個人質問



山田隆義議員

### 敬老会について

**Q** 議会の議決により増額した敬老会の予算を、なぜ満額執行しないのか。また、敬老会を実施されない自治会への対策は。

**A** **市民部長** 会場がないため実施できない自治会には、公共施設を利用していただくようPRもした。

**A** **市長** 公共施設の利用などでバックアップしたが、実施は自治会の判断になる。予算は、議決の趣旨を踏まえて執行したつもりだが、満額使い切れというのはいきすぎだと思ふ。

### 固定資産税の未納問題について

**Q** 市長の固定資産税の未納問題について、現在も支払われていない理由は。

**A** **総務部長** この土地が別府自治会の不特定多数の方に利用されてきたのは事実である。租税を減免してきた課税側の瑕疵を、一方的に納税者側の責任にして賦課することは、納税者の信頼を裏切ることで、遡及課税はできないと判断している。

### 光ファイバー網の整備について

**Q** ケーブルテレビや光ファイバー網を整備して行政情報の発信は。

**A** **市長** これだけインターネットが普及している中で、ホームページなどの利用を積極的に工夫すればいいと考えている。



### 残された課題は

## ソフト面の問題を課題としたい

**Q** 合併して4年になるが、体制整備について残された課題は。

**A** **市長** バランスのとれたソフト面の体制を整えることが難しい問題だと痛感している。行政事務のコストダウンは、歳出のバランスを考えると非常に重要だと考えていく上で非常に大切となる。また福祉面では、特定のポジションに突出させることなく、サービス間のバランス、地域間のバランスなど全体のバランスが重要だと思っている。施策間のバランスも配慮す

### 個人質問



棚瀬悦宏議員

る必要がある。時代に対応した施策を考えていかなければならない。行政施策を進めていく中で、ソフト面の問題を重視して、これからの課題として考えていきたい。

### 市防災計画について

**Q** 消防業務を岐阜市に委託することになれば、市防災計画の見直しは必要になるか。

**A** **総務部長** 防災計画には、災害時における対策本部の組織体制について、消防機関の位置付けがされている。また、防災活動においても、消防機関との連携が取り決められている。常備消防の位置付けが変わって新たな防災体制が確立できれば、防災計画や水防計画の見直しを行う。

### いじめ問題について

**Q** いじめの状況把握は。

**A** **教育長** 児童・生徒・保護者へのアンケート調査、相談箱の設置、教育相談日を設けての対応などをして

**Q** いじめに対して地域をあげて議論する場合は。

**A** **教育長** 青少年育成市民会議でいじめ問題を取り上げていただくようお願いしていきたい。家庭教育学級での研修的なことや、社会人権同和の研修会での取り上げも考えていきたい。

**A** **教育長** いじめを見逃さない目を持つことや即対応することも教師の力で、日々指導力向上の研さんをお願いしている。



# みずほ公共サービス(株)への発注は

## 市長 業務により入札に参加させる

Q みずほ公共サービス(株)に発注した草刈が、期日内に終わらないことがあった。能力以上の業務を請け負っているのでは。

A 市長 みずほ公共サービス(株)は今年度スタートで業務を請け負える能力と発注した仕事のバランスで発生した問題だと考えている。来年度は能力を精査して業務を発注していきたい。



草刈の発注など請負能力との精査を(=五六川にて)

きる業務は、みずほ公共サービス(株)も指名業者という認識で入札で発注していききたい。みずほ公共サービス(株)に随意契約する業務としては入札にふさわしくないものがある。業務を精査して振り分けて発注したいと考えている。

個人質問



浅野 健議員

# 学童保育の対応は

## 市長 変化に合わせた形での対応を検討する

Q 学童保育は幾つもの法令で位置づけられているが、共通する定義は。

A 市長 働きながら子育てしている方に対しての、援助の一つだと考えている。

Q 学童保育は、専用室と専任指導員が必要なので法制化された。当市でも、仕事で保護者が家に居ない児童のための事業として、放課後児童健全育成事業が位置づけられている。9月議会で市長は、家庭の事情によって、環境に違いのある児童を区別することは考えないと答弁されたが、学童保育の認識に欠けるものではないか。

A 市長 家庭の事情によって環境に違いのある児童の対応は、工夫しながらやっている。無視しているのではなく、児童を区別した形での放課後の居場所を考えていないと言ったことで答

弁した。

Q 最近の調査では、女性の就業率が高いと出生率も高いという結果が出ている。女性が仕事を続けながら子育てすることをどう考えているか。

A 市長 働くことと子育ての両立は大変なことだと思う。しかし一番大事なことは子育て。働くことで子育てを犠牲にしてはならないと認識している。子育ての主役は親であり、そこで足りない部分のサポートを考えている。学童保育だけでなく、仕事の面でも考えていかなければならない。

Q 松野市長は、次期市長選で当選した場合、県下で平均年齢が一番若く、子ども数が多いまちのトップとして、どう責任を果たされるのか。

A 市長 教育や子育ての機能は、変化に合わせた形で十分に保持していく必要

がある。

Q 現在、変化に合わせて対応していないのでは。

A 市長 希望者の数は聞いており、今の施設で不足しているというところは認識している。地域ごとどう対応するか検討することを一つの主要なテーマにして

個人質問



熊谷 祐子議員

# 議員研修報告

- 11月2日 西濃環境整備組合・うすずみ研修センターへ
- 11月14日 中濃十市議会議員研修会へ

## 11月2日

揖斐郡大野町にある西濃環境整備組合のごみ処理施設は、当市からもごみの搬入を行っている施設です。

視察調査では、組合のあらまし、ごみ搬入量の推移、施設についての説明を受け、施設内にある設備を視察。ガス化高温溶融炉は、排ガスの大幅な削減や、ごみの資源化により最終処分量を削減できる、最新の施設でした。

次に、本巣市根尾門脇にある「うすずみ温泉四季彩館」に移動し、2階にある瑞穂市うすずみ研修センターで、中日新聞経済部部長の佐藤良平氏を講師に迎え、「ナゴヤ集中と地方分権」と題する講演を受講しました。



研修センターの視察調査では、利用状況などについて説明を聴取するとともに、四季彩館の施設を視察しました。

当市に関係のある両施設について、現状を理解するための有意義な視察研修となりました。

## 11月14日

中濃十市議会議長会(関、羽島、美濃、美濃加茂、各務原、可児、山県、瑞穂、本巣、郡上の各市で構成)の議員研修会が各務原市文化ホールで開催されました。

研修会では、時事総合研究所客員研究員、国際問題研究所ATWI所長の小関哲哉氏を講師に迎え、「激変する世界と日本の選択」と題する講演を受講しました。話題となったのは、アメリカと中国の関係、イラク問題、中国がかかえる資源枯渇・環境破壊・人心荒廃などの問題、日本の教育制度の問題などで、地域の問題に目を奪われがちな地方議員に対して、世界情勢の講演は、大所高所からの視点で世の中の動向を再度考えるきっかけとなり、議員の資質向上に役立つ研修となりました。



ツキノワグマの捕獲について  
Q 鷺田橋付近で11月初めに捕獲されたツキノワグマの子グマは、どう処理されたか。  
A 都市整備部長 捕獲に

は、法律により許可が必要になるなど厳しく規制されている。今回は、農作物の被害と住民への危害防止の観点から、当方で有害鳥獣捕獲の許可を出して保護した。その後、県および関係機関と協議し、自然の山に放獣することにした。上流

域の市町と協議し、地元地域住民の理解を得られたので、国有林の鳥獣保護区で放獣した。  
その他の質問  
・教育基本法について



# 議員紹介です

## 本質を見る

篠田 徹



信言不美、美言不信  
善者不弁、弁者不善  
(中略)  
天道、利而不害  
聖人之道、為而争。

この文章は「老子」の徳経第八十一章の文章です。

私なりに解釈すると、「相手にとって本当に心からの言葉には、余計な飾りはなくとも伝わるものがあるが、聞く人にとって上手過ぎる言葉には真実がない」と読み解いています。

私は議会人として、今行われている、また今後計画されている瑞穂市の政治を、一人でも多くの皆さんに伝える「義務と責任」を負っていると感じています。

ます。

そして皆さんからのご意見を拝聴しながら自分自身の言葉で行政に伝えることが使命だと思っています。

それぞれの視点が違い、議論が白熱することもありますが、そこから得られた答えには本心の「心」が通い、今の時代だからこそ政治には「愛や情」が必要であり、人の身になって初めて行えるものだと確信しています。

また「老子」は、「最後に自分の欲望の為に

争うことをしたり、十分でない知識をひけらかして、下手な争いをしたりするべきではない」と教えてくれています。

私は、本当の知識を身につけるためには、一人でも多くの市民の皆様から多くを教えていただき、培われてきた瑞穂市の伝統・文化を継承し、福祉・教育そして住環境の充実を図りながら「住んでよかった瑞穂市」と誇れるまちにするために一生懸命頑張ります。

## 趣味は…

安藤由庸

趣味は、山歩き、観劇、寺廻りということにしている。

山歩きは、勤め人だった頃に始めた。当時八王子市に住んでいたのですが、高尾山(東京都)と、そこに繋がる道を何度も歩いた。目的はただ歩くこと。それ以外には無かった。同じ季節に同じ道を歩いても同じ印象を受けることは無い。相手は自然

だから。観劇は、大学を卒業した年に、先輩に誘われて作った劇団の芝居を主に観に行っている。

芝居も、山歩き同様、同じ演目を観に行っても、二度と同じ舞台にはお目にかかれない。常に変化している。生



身の人間が演じているから。

寺廻り(具体的には、知多新四国の巡拝)は十年程前に初めて行った。直接のきっかけはな

いですが、祖父もした(祖父は四国八十八カ所)という話を聞かされた。2回訪れたが、聞

隔が空いていたこともあるのか1回目と2回目では同じ印象は受けなかった。

ところで、最近以前に比べてよく本を読むようになった。特に東洋思想やその類の本と経済学の本を。思想の方は議員になってから必要だと感じたから読み始めた。今のところ役に立っているようだが、変化を見つつ、合理性をも考えながら活動したいと思っています。

## 編集後記

一年で一番寒い大寒も過ぎ、暖かい春が待たれる今日この頃です。本年は千支の最後の亥年。猪といえば、猪突猛進がイメージされますが、一歩一歩着実に前進の年にしたいと思っています。12月議会も一般質問を土日で行い、多数の方に傍聴していただきました。厚く御礼申し上げます。感想などお聞かせいただければ、市民の皆様にも読んでいただけるように、議会だよりとなるよう、広報編集委員一同、今後とも努力してまいります。本年もどうぞ宜しくお願いします。(山本)

本年は統一地方選挙と参院選が実施され、今後の行方を左右する重要な年でもあります。地方の自主性・自立性の拡大が求められる中、当市の議会制度も見直しが講じられています。議員一人ひとりが政策能力を付けて、市民の皆さまの声を聞き、生活者の立場で議論し、市民と共に創るまちづくりの実現に力を発揮しなければならぬ年であると強く思っています。(若園)